

桜環境新聞

桜エコ・フェスタ2022

3年ぶりに開催します！

「桜エコ・フェスタ」は、環境を大切に活動している市民団体や障害者の働く施設、企業が協力して、楽しくてエコなモノ・コトイベントも行います。

を体験できるイベントです。特設ホームページを公開するほか、11月13日(日)には3年ぶりとなるリアルイベントも行います。

ホームページでは、34の参加団体の活動や想いを「ちくちくぺたぺた」にこにこぽかぽか」など6つのカテゴリに分けて、「Story」として紹介しています。まずは、左のQRコードからのぞいてみてください。

HPはこちら



さいたま市
桜環境センター

〒338-0834
埼玉県さいたま市桜区新開4-2-1
(月曜休館)

【環境啓発施設】
Tel:048-710-5345

【余熱体験施設】
Tel:048-710-5344

【施設見学・持込・その他】
Tel:048-710-6010

【ホームページ】
https://sakura-kc.saitama.jp/




特設HP公開 2022年11月1日(火)~27日(日)
https://com-sup.com/ecofesta/

桜エコ・フェスタ2022

2022年11月13日(日)
10:00~14:00
さいたま市桜環境センター
雨天中止

めぐりめぐる環^{WA} vol.2

「桜エコフェスタ」を付けてInstagramに投稿しよう！

Instagramで「桜エコフェスタ」を検索してみよう！

主催：桜エコ・フェスタ2022実行委員会
連絡先：さいたま市桜環境センター・環境啓発施設
Tel: 048-710-5345

多目的広場で 11月13日開催

パンや農産物、手芸品などの販売とワークショップ、作品の展示をします。3Rマーケットやリースづくりなど各種イベントも開催！ 爽やかな秋の一日、ぜひ遊びに来てください。

●3Rマーケット
市民の皆さんからお持ちいただいた洋服・雑貨などを1人3点まで無料でお持ち帰りいただけます。引き取られる際は、ついているメッセージカードにご記入ください。※当日、受け入れは行いません。

●スタンプリー
お店で商品を買ったり、イベントに参加してスタンプを3つ集めたら、景品やヨーヨーをプレゼント。3

環境啓発施設 公式SNSアカウント

Facebook

Instagram

環境啓発施設 E-mail
sakura@com-sup.com



LINE 公式アカウント
はじめました！

友達追加で3Rやイベント、ごみの正しい出し方などの最新情報をお届けします。



階のソフトドリンク一杯無料も(先着50名)。

●柳の枝でリースづくり
ビオトープ「シオオ(SEEO)」で育った柳の枝でリースの土台を作ります。10時半〜13時

●ごみ処理施設見学会
ごみの処理やりサイクル施設を見学します。11時〜(受付10時〜先着20名)

●演芸広場
親子で南京玉すだれ、手話ソングなどを披露する劇団(11時半〜12時)、曲を奏でながら会場を練り歩くチンドンバンド(随時)がフェスタを盛り上げます。

●段ボールキャタピラー
大きな段ボールでキャタピラーを作り、レースを行います。12時半〜13時(受付10時〜先着6組)
※雨天中止。社会情勢などにより、中止・変更になる場合があります。

フードドライブ

ご家庭に余っている食品はありませんか？
フードパントリーにつなぎ、必要な方にお届けします！

11月13日(日)の「桜エコ・フェスタ2022」リアル開催当日は、「フードポストさくら」が回収します。会場にお持ちください。

※フェスタ以外の日も桜環境センター2階で受け入れています。お持ち込みの際は、事前に048-710-5345までご連絡ください。



蟋蟀在戸

「キリギリス」とありますが、昔はコオロギのことをキリギリスと呼んでいたそうで、「蟋蟀」は秋に鳴く虫の総称です。

エンマコオロギなどさまざまな鳴く虫が住む多目的広場で、3年ぶりに桜エコ・フェスタを開催します。

「キリギリス」とありますが、昔はコオロギのことをキリギリスと呼んでいたそうで、「蟋蟀」は秋に鳴く虫の総称です。

エンマコオロギなどさまざまな鳴く虫が住む多目的広場で、3年ぶりに桜エコ・フェスタを開催します。

きりぎりすとにあり
【10月18〜22日頃】
一七十二候だより

稲刈り終了!! 次は赤い穂の正月飾り



刈入れ前の赤く色づいた神丹穂

10月9日(日)にビオトープ「シーオ(SEE O)」の稲刈りを行いました。シーオの田んぼは「いきもの第一」。生きもののため、水を抜かず、機械も使わずに稲を刈るのは大仕事です。最初、不安げだった子ど

ろになり、お正月に彩を添えます。
トになり、お正月に彩を添えます。
トになり、お正月に彩を添えます。
トになり、お正月に彩を添えます。

知っているようで知らない 【ごみの正しい出し方】

生ごみ

家庭から出る生ごみの約8割が水分です。捨てる前に生ごみの水分を減らすことで、悪臭が抑えられ、ごみ袋が軽くなることでごみ出しが楽になります。また、収集車やごみ処理施設のCO₂削減にもつながります。

水分を減らすには、①濡らさない、②乾かす、③水分を絞る、ことが大切です。



また、野菜くずを新聞箱に入ると、新聞が水分を吸うことで悪臭が抑えられ、水分が外側から蒸発していくので、ごみが軽くなります。



さいたま市では、生ごみ処理容器等購入費補助金を抽選で交付しています。令和4年度の受付は10月31日(月)までとなります。詳しくはこちらから。



正月飾り(画像の稲わらは神丹穂ではありません)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
参加申込：12月3日(土)10時~4日(日)に、電話048・710・5345まで。

桜環境センターの利用団体紹介

フードポスト さくら

知ることから始まる

家庭で食べきれない食品が捨てられたり、消費期限が過ぎて廃棄されたりする「フード(食品)ロス」の問題。代表・加藤敏明さんは、それなら、経済的に困っている人に、その食品を届けられないかと、2017年、フードポストさくらを立ち上げました。「食べきれないものを必要の人に譲る『フードロス』



「私たちの活動に興味のある人は、ぜひ声を掛けてください。また、余った食品を提供していただける方はメールでご連絡ください」と加藤さん。たくさんの可能性を秘めて、日々活動しています。

加藤さんは2020年から、伊奈町の猪狩農園で農作業を手伝っています。農園では、傷や形が悪いなど、市場では販売できない作物

「私たちが活動に興味のある人は、ぜひ声を掛けてください。また、余った食品を提供していただける方はメールでご連絡ください」と加藤さん。たくさんの可能性を秘めて、日々活動しています。

